

月報 2020年 12月31日 No.359

石城山岳会

12月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

大滝根山

安達太良山（1,700m）忘年山行

掃部ヶ岳（1449m）

榛名富士（1391m）

12月登山教室「いわき七峰縦走」

大滝根山

2020 年 11 月 15 日

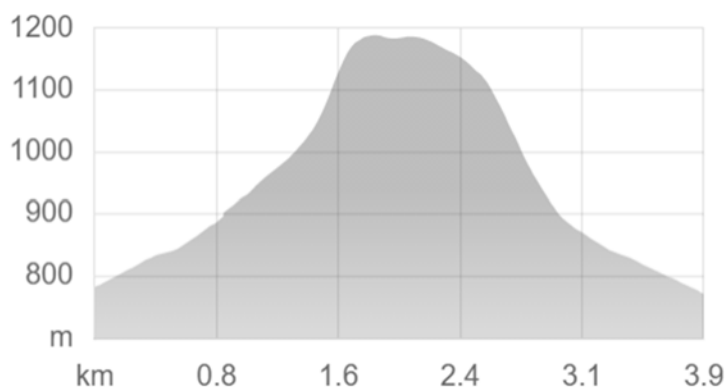
佐藤（幸）. 蛭田（ミ）

晴天、朝 8 時、いつもよりゆっくりの出発でした。車乗合で、田村市まで 1 時間 30 分のドライブでスタートしました。駐車場近くには、あぶくま高原ホテル（廃業）と教会がありました。阿武隈最高峰、1192m の大滝根山の山頂を目指しました。紅葉シーズンのためか、細い道を中型バスが通り驚きました。Goto キャンペーンで登山者も増加したのかなと思いました。登山口を登り始めると、沢山の木々に、名札がついていました。整備された登山道でしたが、急斜面になり両手を使わなければ登れないクサリ場やロープ場もあり、滑りやすい木の根や露岩を超えて行きました。コース前半は、大滝根川の綺麗な水を見ることができ、川のなかにいる魚も見ることができました。少し歩くとお地蔵様が見え、その前に携帯電話があり、登山者の落とし物なのか、皆で驚きました。古い物と新しい物の組み合わせが、不思議でした。山頂付近には、霧島神社があり、その先には、自衛隊のレーザー基地内にフェンスがあり、その中に、大滝根山の三角点が見えた。皆で昼食をとり、その後ゆっくり下山しました。誰も、怪我せず、楽しく登山できました。

文責：佐藤（幸）

コースタイム

8:00 いわき市役所出発→9:56 大越登山口→10:47 御三尺育地蔵尊→11:21 霧島神社 11:25 三角点→11:19 大滝根山山頂→11:36 休憩→13:29 大越登山口到着（行動を 3 時間 15 分、休憩 18 分）





安達太良山（1,700m）忘年山行

2020年11月22・23日（日・月）

太・柏村・菅野・菊地・西・二瓶・斎藤・外2

くろがね小屋が予約できたというので、ひと月早い忘年山行になった。

初日、午前8時の開店と同時に大玉村のスーパーで買出し。9時半前に、あだたら高原に到着。主に「馬車道」を通って、くろがね小屋に向かう。途中で日帰り登山の会員2名と遭遇。聞けば地図読み訓練中なのだという。せっかくなので全員で写真撮影。

くろがね小屋には正午頃に到着。天気は良いが、風もあり寒い。小屋入口で調理し、焼肉と鍋料理の昼食。焼肉は菅野会員が運んだコンロと鉄板で本格的に牛タンなどを焼く。鍋は塩味ちゃんこ（翌朝は味噌味を加えて味噌煮込みうどんになった）。西会員と外2名が日帰り下山し、残りの面々で温泉入浴、小屋カレーで夕食、忘年会宿泊となった。

翌日は、未明に降った雨は上がっていたが曇り。朝食を済ませて登っていくと、時おり山頂岩塊「乳首」にガスがかかる。山頂で集合写真を撮り、薬師岳を経由し、スキー場グレンデを通して下山。

文責：太

タイム

【初日】 9:55 あだたら高原→勢至平→12:05 くろがね小屋

【翌日】 5:45 くろがね小屋→9:10 安達太良山→10:40 薬師岳→12:10 あだたら高原



掃部ヶ岳（1449m）

2020 年 11 月 26 日（木）

太・柏村・菊地

群馬に遠征して榛名山の最高峰、掃部ヶ岳に登った。

関越道・渋川伊香保 IC で高速を降り、榛名湖畔の高崎市営無料駐車場に着いたのが午前 8 時少し前。駐車場の端から樹林の谷間を登り、掃部ヶ岳と硯岩との分岐になっている尾根に出る。

まずは硯岩。岩の上部に立つと、足下は崖で、榛名湖を一望でき、榛名富士、烏帽子岳も見える。分岐に戻って、掃部ヶ岳の山頂に向け尾根を登っていく。道は急な斜面の設けられた階段がほとんど。

掃部ヶ岳の頂上は比較的狭い。最初は誰もいなかったが休んでいると数名が登ってきた。榛名湖の向こうに前橋・高崎の市街地が見える。目を転ずれば遠くは甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、富士も望める。

軽く栄養補給後に下山を開始。湖畔の宿記念公園の方に下山するため、地図を頼りに下る。分岐は、尾根の見落としそうなわかりにくい場所だった。落葉樹林の中を笹原の急斜面を慎重に下ると記念公園。遊歩道を通して駐車場に戻った。

文責：太

タイム

8：10 登山口→8：30 硯岩分岐→8：35 硯岩→8：45 硯岩分岐→12：20 熊穴沢避難小屋→13：40 熊穴沢ノ頭→14：15 谷川岳ロープウェイ天神平駅



榛名富士（1391m）

2020年11月26日（木）

太・柏村・菊地

掃部ヶ岳に登った後、車で榛名高原駅へ移動、ロープウェイで榛名富士に登った。

榛名山ロープウェイは、少し変わっており、ゴンドラが箱型1個ではなく、筒型2個が前後に連結した形だった。コロナ禍の平日にもかかわらず、登りゴンドラには合計20名以上は乗車していた。

榛名富士山頂駅を出て、展望台で振り返れば、眼下には榛名湖が大きく広がる。向こうに前橋の市街地が見えたが、富士は霞んで見えなくなっていた。山頂は目の前で階段を少し登ると富士山神社がある。もともとコノハナサクヤヒメを祀っていた神社で御利益は良縁と安産とのこと。すぐ近くに一等三角点があり、点名もずばり「榛名富士」。案内板を参考に赤城山、日光連山、武尊など順に確認。眺めを楽しんだ後は、神社に良縁を祈願して麓の榛名高原駅へ下った。

文責：太

タイム

11:10 榛名高原駅→RW→11:13 榛名富士山頂駅→11:30 榛名富士
→11:50 榛名富士山頂駅→RW→11:53 榛名高原駅



12月登山教室「いわき七峰縦走」

2020年12月6日(日)

サポート : 下山田、秋葉、渡辺国、猪狩、赤塚、志賀、尾形、栗崎、永井、根本、上遠野、松本

一般 A : 猪狩、小松、竹本、吉田貴、上遠野敦

健脚 : 国井、西、安部、佐藤勝、柏村、佐藤幸、蛭田、長谷川裕、菊地、藁谷、山中

チャレンジ : 青天目、佐藤春、渡辺敬、小林、太、二瓶、吉田睦、山縣、伊藤、赤塚園、菅野、芳賀、甲高、那須原

コロナ渦のため恒例の一般参加「いわき七峰縦走」が中止になりましたが、各自自己責任のもと「いわき七峰縦走コース」を縦走しました。

健脚・一般 A コースの我々はスタート地点の湯の岳展望台駐車場に集合しました。(チャレンジコースは田場坂登山口集合)

湯の岳展望台駐車場をスタートし約 10 分で湯の岳(593m)に到着、ここからはしばらく下り斜面が続き緩やかな登りの後最初の CP 田代到着、そこから林道を歩いてのち登り口からの急登を経て天狗山(631m)到着、三大明神山(706m)への途中ではメガソーラーパネルの光景に唖然とする所もありました。

ニツ石山(751m)からは緩やかな下り、笹と紅葉がある木立で大変雰囲気良かったです。

長い林道を経て水石トンネルへ、教室生 8 人全員仲良く元気に到着しました。

ここから健脚コースの後半スタートです。途中牧場がある長い舗装道路を歩いてから沢を登りました(けっこう疲れました)。CP 関伽井岳に荷物を置いて山頂(604m)へ、舗装道路の横切りを繰り返し登り水石山(735m)到着、笹と木立の緩やかな下りから最後の剣ヶ峰(603m)に到着しました。

ここからが最も険しい下りの始まりです。「小玉ころがし」は疲れた足腰には最大の試練となりましたが健脚コース教室生 5 人全員無事踏破、小玉ダムに到着すると山岳会皆様の盛大な出迎えのなかをゴールすることができました。やったね！バンザーイ！

サポートの皆様、参加者の皆様、一緒に歩いた教室生の皆様大変ありがとうございました。

(文責：山中)

タイム(一般 A・健脚コース)

湯の岳展望台駐車場 7:00→湯の岳 7:10→CP 田代 8:10→天狗山 8:40→三大明神山 9:30→ニツ石山 10:20→水石山トンネル 11:30(昼食) 11:50→関伽井岳 13:20→水石山 14:10→剣ヶ峰 14:50→小玉ダム 15:30



第 15 回いわき七峰縦走

いわき七峰縦走は毎年一般募集をして開催し、約 400 名が参加する石城山岳会最大のイベントです。しかし、今回はコロナ感染症の関係から一般募集はせずに会員、登山教室生のみでの会山行として行い、総計 46 名が参加しました。参加費 1,000 円。

登山道整備には 5 日間、延べ 80 名が作業をしてくれました。今回も晴れ、15 年間一度も雨に合わないのは奇跡的です。皆さんの協力で参加者全員、笑顔、笑顔の素晴らしい山行でした。

12月6日(日)

チャレンジコース 田場坂登山口 6 時 40 分発 13 名参加

青天目、佐藤春美、渡辺敬、小林、太、二瓶、吉田睦、山縣、伊藤、赤塚園子、菅野、甲高、那須原

健脚コース 湯ノ岳展望台駐車場 7 時発 11 名参加

国井、西、山中、安部、佐藤勝、柏村、佐藤幸子、蛭田、長谷川裕、菊地、藁谷

一般 A コース 湯ノ岳展望台駐車場 7 時発 5 名参加

猪狩、小松、竹本、吉田貴子、上遠野敦

サポート 12 名参加

渡辺国広、赤塚、秋葉、下山田、渋谷、猪狩、志賀、尾形、尾形長子、栗崎、栗崎容子、松本、

12月9日(水) チャレンジコース 5 名参加

永井、秋葉、上遠野、菊地、サポート下山田

文責：秋葉信夫